高校生・指導者とも講習を受ける

審判委員会連載No.２

▷▷講習会・研修会

１．高校生ラインズマン講習会
（東地区）８月２日13時～　於御影工高
（中地区）８月16日９時～　於神戸甲北高
（西地区）８月９日13時～　於神戸高塚高
服装・持参品　サッカーのできる服装、筆記用具、旗（各校一組）
対象者　神戸市高校リーグ参加各チームの高校生（各チーム３名以上）

２．高校指導者研修会・新規講習会
８月11日　於ユニバー記念競技場
対象者　兵庫県下の高校指導者
主催　兵庫県高体連審判委員会

▷▷お知らせ

上記の高校指導者新規講習会は、県高体連主催ですが、よい機会ですので特に市高校リーグなどを担当される先生方は、ぜひ資格を取得された上で審判をご担当下さい。また、すでに資格をお持ちの先生方も、ルールの改正などもありますので、つとめて研修をつまれますようお願いいたします。

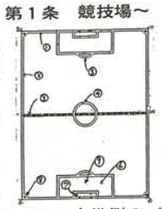
▷▷トピックス

長岡康規氏（神戸高勤務・国際審判員）が７月５日～22日、ユーゴスラビアで開催されたユニバーシアード大会に派遣されました。

▷▷ルール

サッカーの競技規則は、17条からなります。競技規則に関することで、見落しやすいところ、ちょっと気付かないようなことを「ルールをめぐって」と題してとりあげてみます。

～ルールをめぐって①　第１条　競技場～



右の図はルールブックの競技場の図です。各部のよび方と、正確な寸法が言えますか。

競技場でよくぬけているのが、ペナルティアーク(⑤)とコーナーエリア(⑧)のラインです。ペナルティアークは、ペナルティキックのときに、キッカーと守備側のゴールキーパー以外の競技者が、インプレーになるまでペナルティマークから少なくとも9.15m離れていなければならないので、これを確実に行うために描かれます。コーナーエリアは、コーナーキックのときに、この中にボール全体がはいるように置いて蹴らねばなりません。この円の半径は１メートルと決められていますが、往々にして小さすぎるようです。ボールの直径が約22cm（５号球）ですから、ボール４個を並べても十分入る大きさでなくてはいけません。

（図の名称）①ゴールライン②タッチライン③ハーフウェイライン④センターサークル⑤ペナルティアーク⑥ペナルティエリア⑦ゴールエリア⑧コーナーエリア⑨ペナルティマーク

指導者講習会初級コース

═══ 51人に修了証 ═══

昭和62年度神戸市少年サッカー指導者講習会は６月20日から７月12日までの内８日間、御影工業高校、磯上球技場とスポーツ会館会議室、王子登山研修所で現在少年サッカーを指導している人と、これから指導してみようという人を対象に、サッカーの初歩、基本の知識と指導法、ゲームという内容で加藤寛日本協会上級コーチほかから実技と講義をうけ最終日の７月12日阪神御影駅前〔水源〕での閉講式で51名の方に修了証が手渡された。

○６月20日　王子 18時 開講式。19時　講義 少年指導に求められるもの　加藤　寛
○６月23日　磯上 19時 講義：サッカーの歴史・用語　伊窪吉和　神戸市協会少年委員長 20時　実技：キック・シュート山本高史ほか
○６月26日　御影工 19時 講義：少年の発育発達　柴田　寛　20時　実技：ヘディング・ストップ・トラップ　金田篤佳ほか
○６月30日　磯上 講義：コーチの人格　岡俊彦　実技：ドリブル・タックル　天野ほか
○７月３日　磯上 講義：救急法・医学・痛みがあったら休ませる。兵庫医大整形外科田中寿一　実技：パスと１対１　志賀　守ほか
○７月７日　御影工 講義：攻め方・守り方 志賀　守　実技：２対１・グループ柴田ほか
○７月10日　王子 講演：大学サッカーと少年育成　①対人関係を円滑に処理出来る能力をやしなって協会にもっと要求を出し意見を述べて選手に良い環境を実現しよう。②選手の承握力。選手をよく見て、知って話し合いをしよう、モデルを示してのちに考えさせる。③グラウンドでの指導能力と研究分析能力 何でも見てやってやろうの好奇心を大切にするが欲ばらない。正確性とトップスピードの２つを要求しては無理になる。バックスの評価を正しくＤＦの良いプレーをほめてやると同時にＤＦの失敗には原因を指摘し追求する。
大阪体育大学　サッカー部監督　坂本康博氏
○７月12日　御影工 15時 紅白試合 閉講式

昭和62年度　神戸市少年サッカー指導者講習会　初級コース　修了者名簿

飯島仲朗　磯田光子　大澤一雅　田中留美
吉岡八重子（夢野）　石橋泰亜　田中　勝
西村忠夫　長谷淳子　橋本和彦（西須磨）
伊勢崎修弘　岡部勇　大橋祥一　作本孝義
瀬島勝美　平瀬敏夫　星野秀弘（ひよどり台）
伊勢田吉一（小部東）猪多　勉　神田　淳
吉良一明　徳田昭一郎　松本俊夫　三浦正次
森　聡（多井畑）大久保斉　長井美代子（神陵台）林　幸男　加峰史朗　今井一彦（成徳）
川上　修（学園小寺）岸　求一　桜川　諭（高倉）白梅洋祐　小宮善和（北五葉）小西征洋　北田勝彦（神戸ＦＣ）佐渡友和弘（福住）塩見　元　柴草英彦　松村久男（神の谷）
新免経由　長戸憲治　宮下真澄（西神平野）
鈴政周二（有野）田辺新一（蓮池）常信正隆
畑中昭洋（八多）中山紀彦（木津）松尾正美（みさき）古谷昭文（加古郡稲美町）

福崎　準決勝で敗れる

近畿高校選手権

昭和62年度、第40回近畿高校選手権大会は７月22日から25日まで。
に２府４県の代表16チームを集めて行われた。
兵庫県からは県総体優勝の滝川第二と２位の福崎、３位の明石北高が出場、福崎がベスト４に入り、滝川第二と明石北がそれぞれ、ベスト８に入った。

近畿高校選手権大会結果　（関係分）

〔一回戦〕

明石北	3	—	0	和歌山北
福　崎	1	—	0	京都商
	（延長）			
滝川第二	2	—	0	奈良育英

〔準々決勝〕

滝川第二	0	(0—1 / 0—1)	2	大阪商
明石北	0	(0—0 / 0—2)	2	大　淀
福　崎	0	(0—0 / 0—0)	0	水　口
	延長 0—0	4 PK 1		
山　城	1	—0		比叡山

〔準決勝〕

福　崎	1	(1—2 / 0—2)	4	大　淀

神戸市少年選抜夏合宿
基本的生活習慣も指導

神戸市選抜４年生から６年生は、８月17日から19日まで市内で合宿を行った。この合同合宿は、今回で２回目で、これまで寄せ集め的な選抜から、低学年からゆっくり育て長い目で子供を指導し、広い視野に立って多くの子供たちを見ようと企画されたものである。
６年生33人、５年生32人、４年生55人、合計120人が参加、磯上グラウンドなどで２対１から３対２まで基本的な戦術練習と、ゲームを行った。少年技術部の黒田部長も連日指導に当たり、成果を上げた。
選抜といっても、４年生はまだ選考の段階。協同生活を送ることによって基本的生活習慣を身につけることも大きな目的の一つである。自分のことは自分でする。他人に迷惑をかけない。これらのことを一から指導しなければいけない。宿舎できわいで雷を落とされた選手も多かった。
さすがに５、６年生にもなれば２回目ということで余裕さえ見られた。６年生は各団の遠征、合宿等の行事の合間をぬって参加し、コンディション調整に苦労したようだった。

神戸市社会人運営会議予定
次回　10月15日(木)

11月19日。18時30分から**神戸市立勤労会館４階会議室**。社会人リーグに参加している各チームの代表者は必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、１年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒650　神戸市中央区八幡通２－１－10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会　☎078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。

本紙は右記の店にもあります

有宏スポーツ
東灘区御影本町4丁目11-9　☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ
兵庫区大開通７丁目5-26　☎078(576)0870
高速大開駅東

MEN'S SHOP MAC
三宮センター街店　☎078(391)0895
プレザーショップ、トーアロード店　☎078(391)0896
ドルチェ・マック、センター街店　☎078(332)0141

ヤノ運動用品
本　店　中央区三宮町3-8-1　☎078(391)1121
ファイブ店　中央区三宮町2-7-8　☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ
湊川店　湊川プラザ２階　☎078(511)2234
鈴蘭台店　ダイエー西側　☎078(592)0470

加茂トアロード店
中央区三宮町３－８－８　☎078(392)0234
ＪＲ元町駅南側東へ100m

サッカーショップＰＫＦ
中央区下山手通３丁目3-10　☎078(332)5519

ワールドスポーツ
東灘区深江北町４丁目７－３　☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

Jucheim's
Für große und kleine Feinschmecker
Kobe-Frankfurt am Main
Seit 1925
ユーハイム

月刊
神戸のサッカー

1987　８月号

発行所　神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651　☎　(078)232-0753
発行人および編集人　一北　四郎
神戸市灘区上野通６丁目３－１２
〒657　☎　(078)861-3100

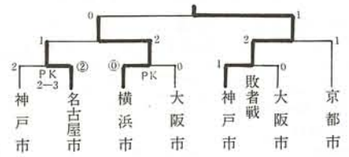
毎月1回10日発行 購読料１部50円

第38回五大都市体育大会サッカー　神戸市代表優勝

五大都市体育功労者に加藤正、松岡、福山の３代が受賞

第38回五大都市体育大会サッカー競技は、７月11日、12日の両日、京都市左京区、宝が池球技場で行われた。
五大都市体育大会は、昭和25年の創設以来、市民スポーツの振興と友好を深め、体力の向上と健康で明るい市民生活の高揚に資することを目的に持ち回りで行われ社会体育の歩みに先導的な役割を果している。
今年は２巡目の初回にあたる第43回国民体育大会の開催を来年に控えて、市民のスポーツ熱がますます高まってきている京都市で19種目にわたって、わざをきそった。
昨年の横浜大会で、日本リーグＯＢで固めた横浜市代表と大会随一の熱戦を展開し３位に入った神戸市代表は、第一戦から苦戦を強いられたがよく立ち直って見事優勝を果した。
五大都市大会での優勝は第33回と第35回の同時優勝。単独優勝では第９回と第10回の連続優勝、第21回神戸大会での優勝以来17年ぶりの快挙である。
７月10日、15時から国立京都国際会館大会議場で総合開会式があり、次の三氏が大会会長今川正彦京都市長から表彰状と記念品を授与された。
五大都市大会の発展に著しく功労のあった加藤正信氏（神戸市サッカー協会副会長）
五大都市体育功労者賞。
五大都市体育大会に出場した優秀選手。
松岡泰典氏（三菱重工）五代都市体育功労賞。
福山嘉夫氏（兵庫教員）　〃

第38回　五大都市体育大会結果



▷７月11日　第１戦　対名古屋市　前半10分前田のミドルシュートで先行、後半10分にミスから同点にされた。しかし25分から出場した林がクリーンシュートを決め２対１とリードして試合が決まったと思われたが、すぐ守りのミスから同点にされＰＫ戦となった。得意のＰＫであったが２人が外し２－３で負け。

▷７月11日　第２戦　対大阪市　両チーム共暑い中のダブルゲームであったが、神戸は全員の動きが良く、ゲームを支配し後半残り10分で出場した林が終了２分前に劇的なミラクルシュートを決めて１対０で勝った。

▷７月12日　第３戦　対京都市　前半５分に先取点を奪われたが25分にＰＫをえて山名が決めて追いつき後半の終了間際に笠谷のヘッディングシュートで２対１とくだした。

▷７月12日　第４戦　対横浜市　連戦ではあるが全員の動きが一段と良くなり相手を圧倒。横浜は中盤の要、鍵本（元日産）を温存したため組み立てが悪く前半有効な展開が出来ずに経過した。後半すぐに鍵本を出したがリズムがなかなかかみ合わず、やっとうまく動き出した残り10分位で神戸もエース林を投入、またしても終了３分前に笠谷のセンタリングを林がうまく合わせて得点し優勝を果たした。
今回はナイターのない大会で苦しかったが、全員が良くまとまり、ゲームに出場していない選手も一丸となったチームワークで第21回の神戸大会以来の単独優勝をかざった。

【五大都市大会　神戸市代表】

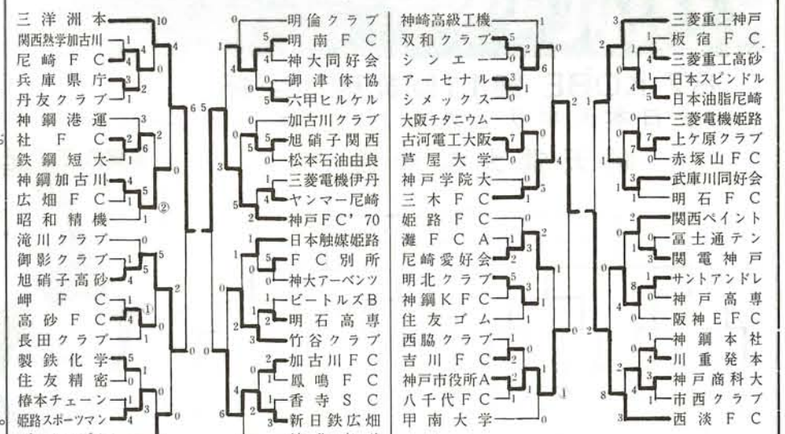
監督　細谷一郎　マネージャー　森川和俊
選手　主将山本伸吾　松岡泰典　上辻正夫
前田正司　西田正雄　神原吾郎　横田　滋
山名幸男　厚田太加志　荒瀧光彦　小丸俊幸
林　啓太　笠谷忠行　昌子　力　瀬川　哲
鍵野剛一

↓五大都市大会に優勝した神戸市代表

三洋洲本、三木ＦＣ、神戸ＦＣ1970、西淡ＦＣが天皇杯関西大会へ出場

第67回（昭和62年度）天皇杯兵庫県大会は４月５日から７月26日まで県下各会場で行われた。その結果三洋電機洲本、三木ＦＣ、神戸ＦＣ1970、西淡ＦＣの４チームがそれぞれのブロックで勝ち進み関西大会出場を決定した。

第67回（昭和62年度）天皇杯兵庫県大会結果



第27回神戸市総体中学校選手権大会　広陵中、本山中両校優勝

第27回神戸市総体中学校選手権大会は７月19日から24日まで、ユニバシアード記念競技場サブグラウンドを中心に７会場で熱戦が展開された。決勝戦は、広陵中学と本山中学との戦いになったが、延長、再延長まで行って両校ともゆずらず、両者優勝となった。なお県大会にはＰＫ戦の末広陵中が出場を決めた。

▷決　勝　７月24日　ユニバ記念競技場サブ

広陵中　２（１－０、１－２、０－０、０－０、０－０、０－０）２　本山中

〔評〕

決勝は広陵中と本山中の戦いとなり、炎天下、前後半50分が行われたが２対２と勝敗がつかず、延長、再延長にもつれこんだ。しかし両校ともゆずらず、引き分け、両校優勝となった。

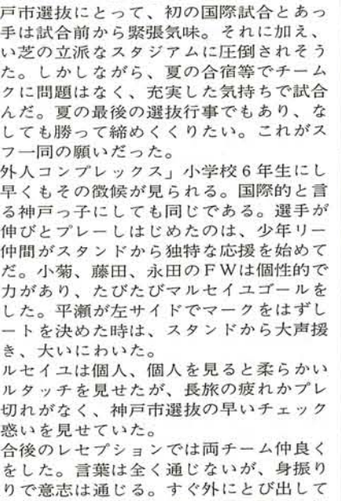
広陵中、本山中共、まとまりのある好チームで、広陵中は一戦一戦力をつけてここまで勝ち進んだ。一方、本山中は一回戦より１点を争う激しい試合に競り勝って決勝に残った。

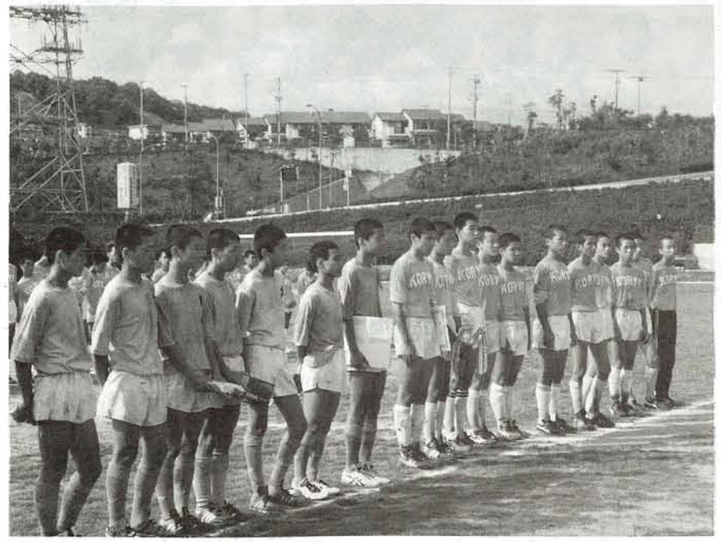
試合は広陵中が開始早々の１分、ゴール前でダイレクトパスをつなぎ見事なシュートで先手を取った。本山中は立ち上がりでやや集中力に欠けていた場面であった。前半はその後一進一退でゲームが進むが両校得点がなく終了した。

後半、まず開始２分本山中の左ウイングがドリブルで持ちこみセンターリング、ダイレクトで決めて同点。しかし14分広陵中が本山ゴール正面でドリブルシュートを決め再びリードした。両校ともそのころからつかれが見えだし、そのまま終わるかに見えたが18分、今度は本山中のセンターフォワードが、ペナルティエリア内を速いドリブルで突破、広陵バックがそれを止めようとスライディングタックルに入ったがファウル。本山中はＰＫを決めて再び追いついた。

延長、再延長は両校とも最後の力をふりしぼって戦かったが得点にいたらず引き分け、両校優勝となった。　　柴田啓二

第27回神戸市総体中学校選手権大会結果





右　広陵中学と　左　本山中学の面々　神戸市総体中学校選手権大会で優勝を分けた

市少年選抜　マルセイユを破る

第１回世界少年大会　神戸大会

第１回世界少年大会に参加のため来日したフランスのマルセイユオリンピックは、マルセイユと姉妹都市である神戸市を訪れ、ユニバー記念総合メイングラウンドで神戸市選抜（小学６年生）と親善試合を行った。この日の試合のために７月から強化を図った神戸市選抜は、立ち上がりこそ緊張のため動きが悪かったが、スタンドからの応援に勇気づけられたのか調子を上げ、前半16分に平瀬が先制ゴールを決めリード、後半も優位に試合を進め、藤田の強引なドリブルからチャンスをつくり、酒井が決め勝利を決定づけた。

神戸市選抜にとって、初の国際試合とあって選手は試合前から緊張気味。それに加え、美しい芝の立派なスタジアムに圧倒されそうだった。しかしながら、夏の合宿等でチームワークに問題はなく、充実した気持ちで試合に臨んだ。夏の最後の選抜行事でもあり、なんとしても勝って締めくくりたい。これがスタッフ一同の願いだった。

「外人コンプレックス」小学校６年生にして、早くもその徴候が見られる。国際的と言われる神戸っ子にしても同じである。選手が伸び伸びとプレーしはじめたのは、少年リーグの仲間がスタンドから独特な応援を始めてからだ。小菊、藤田、永田のＦＷは個性的で突破力があり、たびたびマルセイユゴールを脅かした。平瀬が左サイドでマークをはずしシュートを決めた時は、スタンドから大声援がおき、大いにわいた。

マルセイユは個人、個人を見ると柔らかいボールタッチを見せたが、長旅の疲れかプレーに切れがなく、神戸市選抜の早いチェックに戸惑いを見せていた。

試合後のレセプションでは両チーム仲良く食事をした。言葉は全く通じないが、身振り手振りで意志は通じる。すぐ外にとび出して遊びはじめるのはどこの国の子供も同じ。短かい時間だったが、心に残る交流を行った。

（神戸市選抜監督　天野泰男神戸ＦＣ）

第42回　国民体育大会近畿地区大会　日程表

８月28日（金）　（少年）

開始時刻	ユニバー記念競技場Ａ	ユニバー記念補助Ｂ
10:00	Ａ兵　庫－Ａ和歌山	Ｂ京　都－Ｂ滋　賀
12:30	Ａ大　阪－Ａ和歌山	Ｂ奈　良－Ｂ滋　賀
15:00	Ａ兵　庫－Ａ大　阪	Ｂ京　都－Ｂ奈　良

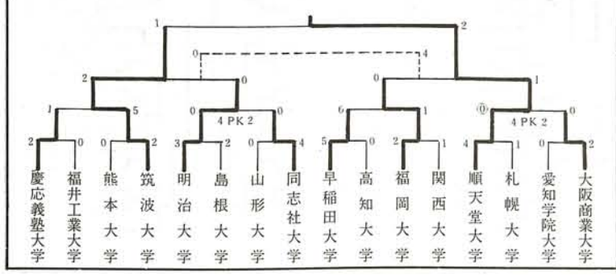
８月29日（土）　（少年）

開始時刻	ユニバー記念競技場Ａ	ユニバー記念補助Ｂ
10:00	Ａ　１－Ｂ　１	
13:00		Ａ　２－Ｂ　３
14:30		Ａ　３－Ｂ　２

８月30日（日）

開始時刻	ユニバー記念競技場(少年)
10:00	Ａ　３－Ｂ　３
11:30	Ａ　２－Ｂ　２
開始時刻	**神戸市立球技場(成年)**
10:00	京　都－奈　良
12:00	大　阪－和歌山
14:00	兵　庫－滋　賀

'87 KOBE 第11回総理大臣杯
全日本大学サッカートーナメント
順天堂大学優勝！



充実のモルテン Tango タンゴ
サッカー界の新しい夢を乗せたパーフェクトボール
MTF5AD
molten
Selected cow hide
Made in Japan
Tango
Official FIFA World Cup design
株式会社 モルテン
広島／東京／大阪／名古屋／福岡／札幌

天に天国あり　地にフットボールあり〈7〉

ヨーロッパ２カ月の旅

上野　勝幸

フィンランドＦＡ　熱くなる出会い

それは幸運な出会いだった。いつものように１ＦＣケルンの練習をながめていると、クラブハウスに横づけした大型バスから、男たちが降りてきた。中にはおじさんもいる。ははあ、ノーキョウさんかどっかの団体が観光旅行の途中にプロチームの練習を見にきたんだなと思っていると、２、３人が私に話しかけてきた。東洋人が珍しかったわけでもあるまいが、そのうちの１人が「私はマルティ・クーゼラだ」と言って、さし出した名刺にはフィンランドのNational Team Managerと書かれている。「ギクッ」。日本ではマネジャーといえば主務をさすことが多いが、Managerは監督である。フィンランドのフットボールに関して十分な認識はその時もっていなかったが、フットボールが弱かろうはずはない。

その団体は西ドイツのノーキョウさんではなく、クーゼラ監督が団長となってヨーロッパのフットボール事情を視察にきていた、フィンランドＦＡ（フットボール協会）のコーチ陣だったのである。

大音楽家シベリウスを生み、「森と湖の国」のロマンチックなイメージを持つが、1300*。の細い国境線でソ連と隣接する国でもある。国民の多くは今なお、日露戦争における日本の勝利がフィンランドの独立に影響を与えたとして、日本にはよい感情を抱いているようだ。

視察団は30人と１人。フィンランドＦＡの秘書氏の愛嬢もいっしょだった。マリアンヌという11歳の女の子。日本の中学２年程度の英語はしゃべるから、私といい勝負だ。さっそく仲よしになって、芝生でボールをけった。なかなかの足技である。マリアンヌが話しかけてきた。

「ねえ、サウナ、好き？」

「ええ、大好きだよ」。フィンランドの人々にとって、サウナは欠かせないものだ。

「日本では女の子もボールけってるの？」

「うん、近ごろは女の子もフットボールが好きだよ」

「じゃ、ヘルシンキ・カップ知ってる？」

困った。知らなかった。クーゼラ監督や秘書氏が説明に加わった。ヘルシンキ・カップは1976年から毎年１回世界の15カ国以上から500チーム、１万人の選手が参加して開かれるもので、少年少女の大会としては世界最大規模だという。ウエノが所属するクラブもぜひ少年チームを派遣してほしいと勧められ帰国後、大会委員長から正式に招待状が届けられたが、残念ながら参加できなかった。日本のチームの参加を心から望んでいるみたいだ。

さて（1986年）11月４、５の２日間、ちゃっかり彼らについて行くことにした。何しろデラックス・バスであちこち移動できるのだから、方向音痴の私にはありがたい。出会ったその日は、レーファークーセンへＵＥＦＡ（Union of European Football Association）カップの試合を見に行った。

ヨーロッパでは各国のリーグ戦のほかに、ＵＥＦＡ加盟国間の大会が盛んだ。国家代表チームが争うヨーロッパ選手権が最も権威がある。一方、クラブチーム同士の大会では、ヨーロッパ・チャンピオン・クラブ・カップが最高だろう。優勝したチームは12月東京で行われるヨーロッパ／南米クラブ選手権大会に出場する。このほかカップ・ウィナーズカップやＵＥＦＡカップも根強い人気がある。

この日はバイヤー04レーファークーセンがチェコ・スロバキアのドゥクラ・プラハを迎えてベスト16を争う試合。プラハでの第１戦は０－０の引き分け。レーファークーセンは、３日前のブンデスリーガではアウェーでバイエルン・ミュンヘンを３－０で下し一躍首位に出た。チームは絶好調、ファンの興奮度も天に届く勢いで、近代的なウルリッヒ・ハーバーラント球技場は異様な雰囲気に包まれていた。

キックオフ30分前、選手がアップを始める。韓国出身の車範根の姿があった。韓国代表として日本と戦っていたときも迫力があったが、一段とスゴ味を増した感じだ。'85のシーズンまでに通算85点をあげている。ボールは全くさわらず、ゴールとハーフラインの間を行き来して調整に余念がない。緊張のせいか心なし身震いがきているようにも見えるが、試合にかける激しい闘志がビーンと伝わってくる。

相手のドゥクラ・プラハはキックオフ直前にグラウンドに現れた。レーファークーセンのファンのブーイングがすごいので、アップは控え室ですませたのに違いない。

すぐ近くの鳥打ち帽をかぶったオジサンが、懐からポケットサイズのウイスキーを取り出してウイーッとやった。禁止されているはずなのに、どうしてうまく持ちこんだのだろう。手のひらで無造作に口をぬぐうと、キックオフの笛がなった。

それからの90分、まさに酔った。ドゥクラが先行し、これに対しレーファークーセンは新星ハウスマンや車範根が何度もゴールを襲う死闘を演じたが、結局１対１の引き分け。アウェーの得点が２倍に計算されるので、レーファークーセンは涙をのんだ。だが「ゲームの精神」をまっとうした両チームの間には、勝者と敗者の区別などなかった。

ケルンに向かう帰りのバスの中では、スウェーデンのアバのヒット曲「Eagle」が流れていた。缶ビールをプシュッとあけて、クッションのきいたシートに深く身を沈めれば、涙でむせりそうだった。本当の本物が本場で本気になって戦う試合は、こんなにも素晴らしいものか。「これぞフットボール、これがヨーロッパ」。

＝続く＝

（うえのかつゆき、写真も）

◀フィンランドのコーチ陣。左端が代表チームのクーゼラ監督

◀レーファークーセンを応援する親子▼１ＦＣケルンの芝生でボールをけるマリアンヌ

ヘルシンキ・カップ

開催地　ヘルシンキ(フィンランド)
開催時期　毎年7月上旬(6日間)
選手年齢　少年Ａ(19歳以下)、Ｂ(18)、Ｃ(14)Ｄ(12)、Ｅ(11)、Ｆ(10)、Ｇ(9)、少女＝Ｑ(20歳以下)、Ｔ(16)Ｙ(12)

ＵＥＦＡ(欧州サッカー連盟)主催の主要な大会

	名　　称	開催	第１回大会勝者	
国家代表チーム	European Football Championship(欧州選手権)	4年ごと	1960年 ソ連	ワールドカップの中間年に開催
	Competition for Teams "Under-21"	2年ごと	1978年 ユーゴスラビア	1972,74,76年は23歳以下の大会
	European Championship for A-Youth	2年ごと	1981年 西ドイツ	18歳以下の大会,1981-84年は毎年開催
	Competition for Teams "Under-16"	毎　年	1982年 イタリア	1983年は行われていない
クラブチーム	European Champion Clubs' Cup(欧州チャンピオンズ・カップ)	毎　年	1956年 マドリッド	連覇するチームが目立つ
	European Cup Winners' Cup(欧州カップ・ウィナーズ・カップ)	毎　年	1961年 フィオレンチーナ	破乱が多い
	UEFA Cup (UEFAカップ)	毎　年	1972年 トットナム	フェアーズ・カップを引き継いだもの
	Super Cup(スーパー・カップ)	毎　年		

本文中のヘルシンキ・カップに参加希望のチームまたは関心のおありの方はご連絡ください。

モンブランの メインテーマ "スピードサッカー"
基本のプレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ
markam® & Libero®
親しまれるサッカーウェア younger®
MONTBLANC リアル・スポーツの追求 モンブラン株式会社
神戸・東京・福岡
リベロメイン06
標準小売価格￥9,800